

# おわりに

「災害時における携帯電話基地局の船上開設に向けた調査検討会」では、災害時に速やかに通信手段を確保する方法の一つとして、海上の船舶に携帯電話基地局を開設して携帯電話サービスの提供を行う方法の有効性を明らかにすべく、

- (1) 東日本大震災時の携帯電話基地局被災状況とその後の対策
- (2) 船舶への携帯電話基地局の設置と実地試験
- (3) 海上電波伝搬と陸上の通信エリアの状況
- (4) 船舶の動揺などの受信レベルや通信品質への影響の程度
- (5) 技術・運用・制度面からの実用化への課題

などに関する調査検討を行った。

本調査検討会に設置した作業部会において巡視船に設置した実験試験局（携帯電話基地局）による実地試験を行い、

- (1) 対象とする被災地エリアの範囲やユーザ密度などの状況にもよるが、携帯電話による通信の確保に有効であること、
- (2) 技術面では船舶の向きや揺れによる受信レベル変動に関するさらなる特性の把握や、被災地近隣の稼働している携帯電話基地局への干渉特性の把握などが必要であること、
- (3) 運用面では災害発生時に携帯電話基地局を搭載する船舶の確保や、通信事業者間の事前調整などに関する対応が必要であること、
- (4) 制度面では災害発生時に携帯電話基地局を船舶に搭載して運用することの電波法令上の検討が必要であること、

などが明らかとなり、災害時に船舶に設置した基地局を用いて海上から携帯電話サービスを提供する方法に関する基礎資料としてまとめた。本検討で得られた結果が、災害時において機動的に通信手段を確保する方法の確立に活用できるよう、今後の実用化に向けた検討に役立つことが期待される。

おわりに、本調査検討会における審議にご尽力いただいた各委員の皆様方、ならびに、第六管区海上保安本部と実験試験局を設置した巡視船「くろせ」の皆様方に厚くお礼を申し上げます。

災害時における携帯電話基地局の船上開設に向けた調査検討会  
座長 秦 正治

(岡山大学 大学院 自然科学研究科 教授)